

TOPICS

●職業奉仕委員会より

篠田元一委員長より市産品フェアの説明がありました。



●出向者連絡会より

原田敬美委員より報告がありました。



●10月理事会

6日に行われました10月理事会の風景です。



●よろしくお願いします

ロータリー財団と米山記念奨学会への寄付を、引き続きよろしくお願いします。



●再開!!

10月の例会より、お食事を再開しました。



●事務局
〒332-0012
川口市本町1-18-5 NTTビル1F
TEL 048-222-0124
FAX 048-222-0118
http://www.kawaguchi-rc.com
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp

次回予定 ※20日の振替になります。

10月23日 ポリオ撲滅募金活動
会 場／ 川口駅東口デッキ
点 鐘／ 14:00～17:00

21～23日 川口市産品フェア出展
ウクライナ募金活動

次々回予定

10月27日 定例会
会 場／ 銀座アスター
点 鐘／ 12:30～

新会員卓話 上野良祐会員 / 松本道和会員

2022-2023 KAWAGUCHI ROTARY CLUB

週報

題字：江連 俊裕

No.11

●定例会
第3030回
2022年10月13日配布



Rotary

国際ロータリー第2770地区
第11グループ

2022-23年度
会長：白井 靖 幹事：中村 大祐



あいさつ

会長 白井 靖

伊藤高太郎ガバナー補佐また「かわぐち子どものための日本語教室」紫垣恵子様、はがたしげる様ようこそお越しくださいました。

10月は「経済と地域社会の発展月間」と「米山月間」になります。
本日は、「経済と地域社会の発展」についてお話いたします。ロータリーは、貧困問題に持続可能な解決策をもたらすために活動をしています。雇用されているにもかかわらず1日にわずか1ドル90セント(約220円)で暮らしている人の数は、世界で約8億人います。
起業家とリーダーの育成、特に女性のエンパワメントは、地域社会には欠かせません。
ロータリー会員とロータリー財団は、自立に役立つスキルの指導、家計を支えるための就職支援等を通じて、人々と地域社会の自立を促します。ロータリーのプロジェクトを通じて指導や研修を受けた人々は、地域社会での貴重な人材となって住民への指導、新ビジネス立ち上げの支援、経営方針の指導など行っています。

●地域経済の発展と貧困の軽減のためにこれまでにロータリー財団が授与した補助金
2900万ドル 日本円で約41億9742万円 10月2日

●十分に食べ物がいない人
7億9500万人で世界の9人に1人

●飢えに苦しむ人のうち、女性と少女が占める割合
60%

●極度の貧困者のうち、へき地に住み、生活の糧を農業の依存している人
70%

日本でも以前と異なり貧困問題が発生しています。世界での支援活動に加え、今年度は地元にも地道な支援活動をおこなっていきます。

本日、卓話をしていただく「かわぐち子どものための日本語教室」を運営している紫垣様は、親の都合で日本に住んでいる子供たちを支援しています。
卓話よろしくお願いいたします。

